

SUZUKA UNIVERSITY

LIBRARY NEWS

December, 2021

寒い冬は外に出るのも億劫になりがち。それならば、暖かい部屋で読書を楽しんではいかがでしょうか。

こたつでホットドリンクを飲みながらじっくり読むのも、リラックス効果があるでしょう。長い夜に、ゆっくりと読書を楽しみましょう。

【展示コーナー】

今まで図書だよりで紹介された

先生のおすすめ本をまとめて展示しています。



新着本の紹介





今月の 先生おすすめ本

竜馬がゆく(全8巻) 司馬遼太郎 著 出版社：文春文庫

これは幕末（長く続いた江戸幕府が終わる頃）に活躍した青年、坂本竜馬（さかもとりょうま）の話です。彼は土佐藩（高知県）出身で、学問は不得意でしたが、剣道は全国大会トップクラスでした。当時は将来が分からない混沌とした時代です。そんな中、今までの価値観にとらわれず、楽しく生き抜いた人です。なぜかという、考えるより Try & Error を繰り返し、様々な人との交流が大好き、というタイプの人だったからです。

彼はじっと考えるタイプではありません。様々な人たち（特に各分野の専門家やプロ）との交流を通して、世の中の変化を学んで行きます。武士であり商人ではありません。留学経験もなく外国語もできません。しかし彼は通訳を通して海外ビジネスマンとも交流します。そして、国内だけでなく、グローバルな動向について理解を深めて行きます。あるきっかけで軍艦を操縦する訓練を受け、後には会社をつくり、船を使って日本国内や海外と取引するビジネスも始めます。余談ですが、ソフトバンク創業者の孫正義さんは、中学生時代に『竜馬がゆく』に深く感動しました。ソフトバンクのロゴ（ヨコ2本線）は、竜馬の会社（海援隊）のロゴが由来しています。

今はコロナ禍で先が見えにくい時代です。そんな中でヒントになる本かも知れません。この本の問題点は長編なところ。文庫で8冊です。ただし、1冊目の後半から物語がスピーディーに展開します。そこで物語に引き込まれてしまえば、最後まで読んでしまうと思います。

鈴鹿大学 国際地域学部 松井義司准教授



※図書館カレンダーは鈴鹿大学ホームページをご覧ください。

※コロナウィルスの感染状況を考慮し、現在学外の方の利用を中止させて頂いております。